

公益財団法人 大阪国際交流センター

名称	公益財団法人 大阪国際交流センター	
英文名	Osaka International House Foundation	
代表者	理事長 藏野 芳男	
所在地・連絡先	〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8丁目2番6号 TEL:06-6773-8182	
設立年月／地域国際化協会認定年月	昭和62年2月設立／平成2年1月認定	
基本財産／年間予算額	200,000千円／172,478千円	
会員制度	個人会員 メイト15名16口(年会費1口3千円) 一般26名34口(年会費1口1万円) 特別 2名(50万円・終身) 法人会員 26社44口(年会費1口10万円)	
役員数／職員数	12名(常勤1人)／14人(固有4人、嘱託7人、臨時2人、JICA推進員1人)	
国際交流施設の概要	大阪市所有、延床面積13,967㎡、昭和62年9月開館	
民間国際交流団体とのネットワーク	KIV-NET(Kansai International Volunteer Network) 関西国際交流ボランティアネットワーク会議 72団体(うち市内19団体)	
定期刊行物	アニュアルレポート(年1回)	
主な出版物	「大阪の国際交流史」(日本語・平成3年)、「入門国際交流」(日本語・平成5年)、「実践国際交流」(日本語・平成10年)、絵本「にむの木のある村」(日本語・ベンガル語・平成15年)	
平成27年度 主要事業	インフォメーションセンターの運営	3,777千円 インフォメーションカウンターやホームページなどを通じて、在住・来阪外国人や市民を対象に、センターの事業をはじめ、国際交流・協力やボランティア活動に関する様々な情報提供・発信を行っている。 ●インフォメーションカウンター●ビデオ・DVDコーナー●海外・国内新聞コーナー●フリーペーパー・チラシコーナー●交流スペース●インターネット・PCコーナー●カタログスタンドコーナー●情報交換ボード●海外・国内雑誌コーナー●国際交流情報・図書・機関誌コーナー
	多様な媒体を活用した情報発信	742千円 ●ホームページ●多言語メールマガジン(週1回)●機関誌の発行(隔月刊:年6回) ●フェイスブック
	災害時における外国人支援ネットワーク整備事業	898千円 大規模地震等の発生に備え、行政や地域国際化協会、NGO/NPO、市民ボランティア等と協働で外国人住民の生命財産を守る仕組みづくりを行う。 ①外国人コミュニティ代表者等へのヒアリングによる外国人住民の防災意識、情報伝達の確認や問題点の検証。 ②既存の防災マニュアルの検証、近畿における広域的支援のための合同研修会の実施。防災、危機管理に関する研究会への参加。 ③市担当部局及び外国人集住地域を有する区、社会福祉協議会とのネットワーク強化。 ④災害時通訳・翻訳ボランティア登録者研修の実施 ⑤区役所等地域で実施される防災訓練への参加。 ⑥在住外国人を対象とした防災学習会の開催。

公益財団法人 大阪国際交流センター

外国人のための「一日インフォメーションサービス」	200千円(分担金) 外国人の生活に密接に関係する在阪の諸機関・団体の協力のもと、多言語による情報提供・相談窓口を1日開設する。相談内容 法律、人権、出入国・在留、労働、職業、保険年金、生活、市政、税金、医療、歯科、薬剤、進学、子育て、その他 対応言語:英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、インドネシア語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語、ネパール語(年1回) 【平成27年度】 平成27年6月28日(日)
日本語学習支援リーダー育成研修事業	228千円 センターが実施する各日本語教室活動ボランティアを対象に日本語指導のスキルアップを図るため、年4回(内2回連続講座)を開催 【平成27年度】 平成27年2月～平成28年3月
未就学・ダイレクト向け日本語・学習支援教室	1,022千円 外国にルーツを持つ就学前の子どもを対象に、小学校生活がスムーズにスタートできるよう、小学校で必要な日本語や学校のルールを保護者とともに学ぶプレスクールの実施。及び小学生～中学生の日本語・学習支援の教室を開催。 【平成27年度】 プレスクール 平成28年1月～3月 週1回 13:30～15:00(全8回) こどもひろば 通年 毎週月曜 17:00～20:30
アイハウス日本文化理解・交流サロン	369千円 外国人を対象に、日本の伝統文化、生活文化を体験する教室を開催、講師には専門家のほか、各種技術・技能をもつボランティアが担当。 【平成27年度】 平成27年6月～7月浴衣着つけ教室(全3回)、8月たこ焼きづくり教室、11月生け花教室、12月書道教室、1月茶道教室(全2回)、3月料理教室(予定)
ワン・ワールド・フェスティバル for Youth	2,343千円 市民が気軽に参加できる国際協力のお祭りを開催し、シンポジウム、セミナー、ステージ、民族料理、NGOや政府機関等の活動紹介など多彩な内容を展開することにより、市民の国際感覚の醸成と国際協力に対する意識の向上を図る。 【平成27年度】 平成27年12月26日(土)
NPO等とのネットワーク連携事業	354千円 外国人向け日本語学習支援の分野で活動を行うNPO団体等との連携を進め、日本学習支援ネットワーク構築につなげるとともに、外国人支援分野のNPO団体との連携を深める。 「外国にルーツを持つこども支援ネットワーク大阪会議の開催」 「外国人母子支援ネットワーク形成」 「国際交流協会ネットワークおおさか」
アイハウスカルチャーセンター	770千円 日本人、外国人を問わず、「外国語」を通して、交流したり、気軽に各国・地域の文化や習慣などを知ることができるサロンを実施。 <語学編> ①英語サロン ②中国語サロン ③韓国語サロン <カルチャー編> ①English Yoga 英語によるヨガ教室。ヨガを楽しみながら、英語に親しむ機会の提供。 ②英語で料理教室
アイハウス国際交流塾	735千円 グローバル化の進む国際社会の中で活躍できる「人財」の育成を図るため、国際交流・協力、多文化共生などの基礎的な知識と、コミュニケーションツールとしての語学を学ぶ場を提供。 ①英語編(全12回×2コース) ②韓国編(全8回1コース) ③中国編(全8回1コース)

公益財団法人 大阪国際交流センター

外国人コミュニティ連携事業	<p>7,438千円</p> <p>多文化共生社会を目指す中で、その一翼を担う当事者である外国人とともに、NPO,行政等が一堂に会し、現状認識を行うとともに、外国人のニーズを把握し、その課題を整理するため、意見交換会を定期的で開催する。</p> <p>①外国人コミュニティ会議(年4～5回) 総領事館等と連携し、外国人コミュニティのキーパーソンを集め、外国人のニーズを把握し、その課題を整理する会議を開催。</p> <p>②シンポジウムの開催(外国人コミュニティ会議報告会) 平成27年12月13日(日)</p>
国際交流のための日本文化理解講座	<p>1,570千円</p> <p>コミュニケーションツールとしての語学や、相手の国の社会的背景や文化を知ることも必要であるが、それ以上に自国、日本の文化やその背景を相手に伝え、理解してもらうことも重要であり、グローバル人材育成の一環として自国の文化を学び、理解し、英語で伝える講座を開催。</p> <p>①伝統文化コース ②伝統芸能コース ③日本文学コース</p> <p>【平成27年度】 平成27年8月～平成28年3月</p>